

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第3週（1月14日～1月20日）

★ お知らせ

インフルエンザに注意！

- 定点当たりの報告数は9週連続増加し、12.67と注意報値（10.00）超え！
- 感染力は大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場で特に注意
- インフルエンザウイルスA型、B型の両方を検出（両方に感染することが考えられる）
- 予防法は手洗い、うがい、咳エチケット

咳エチケット

- 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

○ 感染性胃腸炎に注意して！

県全体では51週をピークに減少傾向となっていますが、報告数は多い状況が続いています。感染力は大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。外出後の手洗いやうがい、食事前やトイレの後の手洗いの励行をお願いします。消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。

高知県ノロウイルス対策マニュアル (URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>)

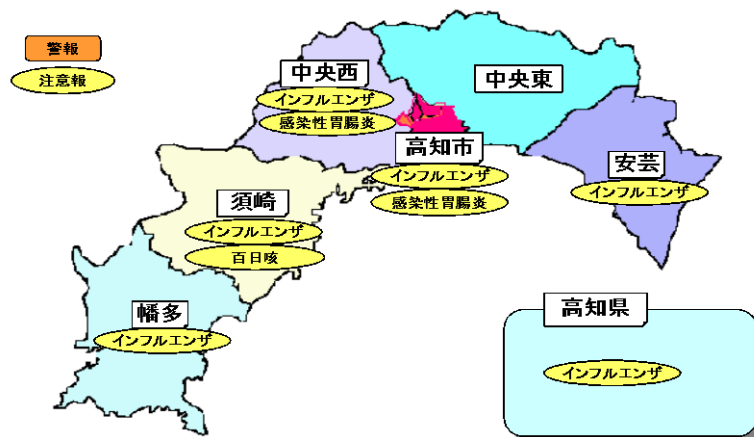
★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	12.67	全ての保健所で増加し、全体で注意報値を超している。中央東以外の保健所で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
感染性胃腸炎	→	11.37	須崎、中央西で増加し、高知市、中央西では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症	↗	1.33	幡多、須崎、高知市で増加している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	↓	1.13	幡多、須崎、高知で減少している。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎	↗	1.00	高知市で8人に増加した。

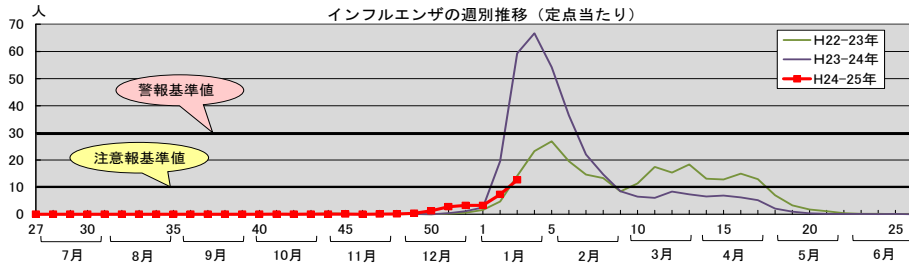
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

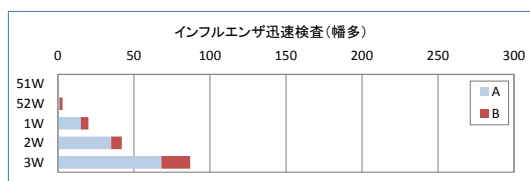
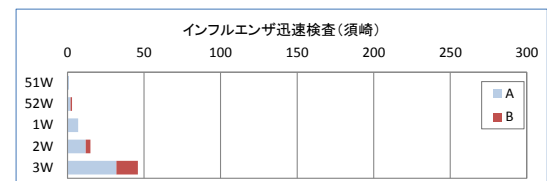
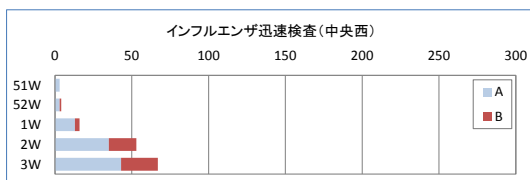
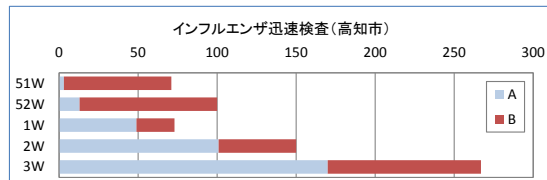
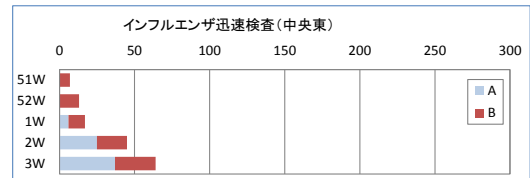
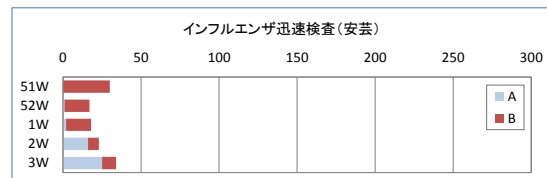
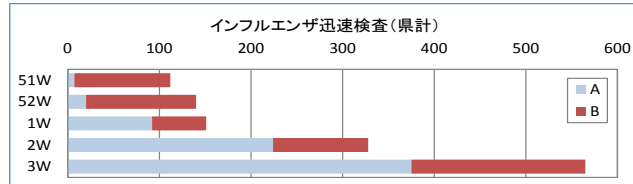
○インフルエンザ：12.67（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 12.67（前週：7.29）と 9 週連続増加し注意報値を超しました。高知市（17.56）中央西（13.40）須崎（12.50）幡多（11.38）安芸（10.50）中央東（7.00）全ての保健所で増加し、中央東以外の保健所で注意報値を超しています。病原体定点からは Influenza virus A H3NT（インフルエンザ A 香港型）以外に Influenza virus A H1pdm09 が 2 例検出されています。今後更なる増加が考えられるので手洗い、うがい、咳エチケットに心がけてください。



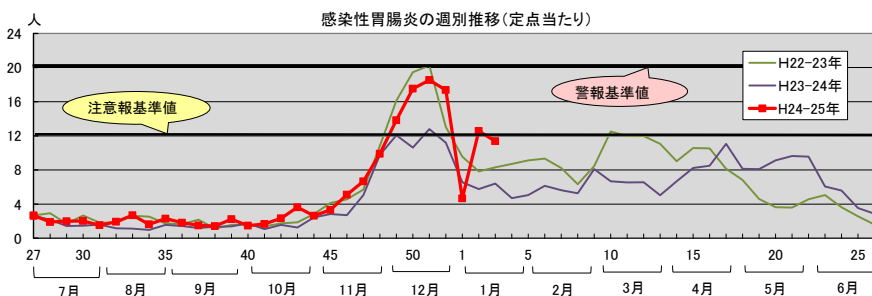
インフルエンザ迅速検査結果

報告週	安芸			中央東			高知市			中央西			須崎			幡多			合計		
	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B
51W	84	30	35	7	277	3	68	19	3	16	1	17	448	7	105						
52W	50	1	66	13	308	13	87	38	3	34	2	1	510	20	120						
1W	55	2	16	46	6	11	232	49	24	60	13	3	25	7	52	15	5	470	92	59	
2W	66	16	7	124	25	20	404	101	49	104	35	18	45	12	3	129	35	7	872	224	104
3W	87	25	9	136	37	27	559	170	97	144	43	24	98	32	14	249	68	19	1273	375	190



○感染性胃腸炎：11.37（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 11.37（前週：12.57）と減少しましたが、須崎（11.50）中央西（13.33）で増加し高知市（16.27）中央西では注意報値を超しています。感染力が強く今後も施設等での集団発生の危険性が考えられるので注意してください。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



★ 病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	インフルエンザ	9	男	須崎	Influenza virus A H1pdm 09
2	インフルエンザ	2	男	須崎	Influenza virus A H1pdm 09
2	インフルエンザ	4	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	—	37	男	中央東	Norovirus GII NT
2	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
1	両側急性中耳炎、上気道炎、熱性けいれん	1	女	高知市	Adenovirus C

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結核	4	7	90 歳代 (男)	幡 多
				80 歳代 (男)	中央西
				20、80 歳代 (女)	高知市
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	10～14 歳代 (男)	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (17 歳女)
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (11 歳女：LAMP 法陽性) 口唇ヘルペス、アフタ性口内炎入院加療 1 例 (13 歳女) インフルエンザ A 型と水痘同時罹患 1 例 (3 歳女) みつば保育園 3 歳児クラスインフルエンザ A 型流行中
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 4 例 (1 歳女：ワクチン済み、4 歳女、15 歳男女：ワクチン未) インフルエンザ B 型 3 例 (10 歳女：ワクチン済み、8 歳男、11 歳女：ワクチン未)
	あけぼの小児科クリニック	インフルエンザ (A：1 B：12) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (4 歳女)
	けら小児科・アレルギー科	帯状疱疹 2 例 (6 歳女、9 歳男)
高知市	細木病院小児科	ノロウイルス (+) 2 例 (1 歳男女) ロタウイルス (+) 1 例 (1 歳男)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (3 歳女)
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 5 例 (6、14、61 歳女、13、14 歳男) インフルエンザ B 型 2 例 (7 歳男、9 歳女：いの町) 水痘 2 例 (2、6 歳男：須崎市)
中央西	日高クリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (4 歳女)
	須 崎	もりはた小児科 帯状疱疹 1 例 (12 歳女) インフルエンザ (A：8 B：12、年齢の大きい児は B 型中心)
幡 多	松谷内科	小児感染性胃腸炎数名あり 流行性耳下腺炎 1 例 (30 歳女)
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス確定 1 例
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (4 歳男)
	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 2 例 (1 歳男、4 歳女)

★ 全国情報

第52週（12/24～12/30）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核413例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症14例、パラチフス2例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病14例、デング熱2例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎4例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症1例、髄膜炎
菌性髄膜炎2例、梅毒23例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん46例、
麻しん2例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎3例、マラリア1例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
髄膜炎菌性髄膜炎1例、先天性風しん症候群1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆ インフルエンザ

インフルエンザ（Influenza）は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。

インフルエンザを予防する手段としては、まずはワクチンの接種があげられる。また、感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生が重要である。インフルエンザでは、たとえ感染者であっても、全く症状のない不顕性感染例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症例も少なくないため、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においては可能である場合は職員も含めて全員が咳エチケット、手指衛生を実行するべきである。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所（小児科定点約3,000、内科定点約2,000）のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2012年第43週以降増加が続いており、第52週の定点当たり報告数は3.35（報告数16,419）となった。都道府県別では群馬県（15.05）、栃木県（10.72）、佐賀県（10.26）、埼玉県（8.08）、沖縄県（7.79）、岩手県（6.42）、茨城県（6.10）、千葉県（5.25）の順となっており、42都道府県で増加が認められた。

2012年第36～52週に国内では460検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が22件（4.8%）、AH3亜型（A香港型）397件（86.3%）、B型41件（8.9%）とこれまでのところAH3亜型が大半を占めている。

第52週は例年インフルエンザの流行の中心となる学校、幼稚園等の小児の集団生活施設が冬期休暇に入ったものの、インフルエンザの報告数は増加が続いた。今後もA型を中心とした流行が続く場合には、昨シーズンと同様に冬期休暇明けに本格的な流行となる可能性が高いと思われる。今後ともインフルエンザの発生動向には注意深い観察が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第3週 平成25年1月14日(月)～平成25年1月20日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第3週							計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) H24/12/31～H25/1/20	全国(2週末累計) H24/12/31～H25/1/13
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ		42	77	281	67	50	91	608 (12.67)	350 (7.29)	59,194 (12.07)	1,115 (23.23)	77,866 (16.10)	
小児科	咽頭結核熱								()	()	1,141 (0.36)	()	1,672 (0.54)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	7	7	1			16 (0.53)	20 (0.67)	4,786 (1.53)	44 (1.47)	6,372 (2.07)	
	感染性胃腸炎		11	39	179	40	23	49	341 (11.37)	377 (12.57)	26,463 (8.44)	858 (28.60)	39,664 (12.91)	
	水痘		4	2	16	5	1	6	34 (1.13)	91 (3.03)	6,030 (1.92)	202 (6.73)	11,031 (3.59)	
	手足口病				1			1	2 (0.07)	()	512 (0.16)	3 (0.10)	891 (0.29)	
	伝染性紅斑				2				2 (0.07)	4 (0.13)	218 (0.07)	7 (0.23)	281 (0.09)	
	突発性発疹		2	4	1	1	2		10 (0.33)	11 (0.37)	1,560 (0.50)	28 (0.93)	2,136 (0.70)	
	百日咳						1		1 (0.03)	1 (0.03)	37 (0.01)	3 (0.10)	47 (0.02)	
	ヘルパンギーナ								()	()	77 (0.02)	()	113 (0.04)	
	流行性耳下腺炎				2			2	4 (0.13)	1 (0.03)	1,068 (0.34)	6 (0.20)	1,648 (0.54)	
RSウイルス感染症			6	20	2	4	8	40 (1.33)	27 (0.90)	2,171 (0.69)	102 (3.40)	3,898 (1.27)		
眼科	急性出血性結核炎								()	()	20 (0.03)	()	27 (0.04)	
	流行性角結核炎								()	()	469 (0.69)	1 (0.33)	702 (1.06)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	5 (0.01)	()	13 (0.03)	
	無菌性髄膜炎								()	()	10 (0.02)	()	18 (0.04)	
	マイコプラズマ肺炎				8				8 (1.00)	5 (0.63)	382 (0.83)	15 (2.14)	627 (1.35)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	22 (0.05)	()	27 (0.06)	
計 (小児科定点当たり人数)		57 (18.00)	127 (14.15)	519 (38.46)	123 (32.06)	81 (28.00)	159 (24.98)	1,066 (27.66)			104,165	2,384 (64.99)	147,033	
前週 (小児科定点当たり人数)		43 (15.25)	104 (12.27)	458 (36.75)	99 (25.93)	35 (13.50)	148 (25.85)		887 (25.02)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第3週							計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) H24/12/31～H25/1/20	全国(2週末累計) H24/12/31～H25/1/13
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ		10.50	7.00	17.56	13.40	12.50	11.38	12.67	7.29	12.07	23.23	16.10	
小児科	咽頭結核熱										0.36		0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.14	0.64	2.33	0.50		0.53	0.67	1.53	1.47	2.07	
	感染性胃腸炎		5.50	5.57	16.27	13.33	11.50	9.80	11.37	12.57	8.44	28.60	12.91	
	水痘		2.00	0.29	1.45	1.67	0.50	1.20	1.13	3.03	1.92	6.73	3.59	
	手足口病					0.33			0.07		0.16	0.10	0.29	
	伝染性紅斑				0.18				0.07	0.13	0.07	0.23	0.09	
	突発性発疹			0.29	0.36	0.33	0.50	0.40	0.33	0.37	0.50	0.93	0.70	
	百日咳						0.50		0.03	0.03	0.01	0.10	0.02	
	ヘルパンギーナ										0.02		0.04	
	流行性耳下腺炎				0.18			0.40	0.13	0.03	0.34	0.20	0.54	
RSウイルス感染症			0.86	1.82	0.67	2.00	1.60	1.33	0.90	0.69	3.40	1.27		
眼科	急性出血性結核炎										0.03		0.04	
	流行性角結核炎									0.69	0.33	1.06		
基幹	細菌性髄膜炎										0.01		0.03	
	無菌性髄膜炎										0.02		0.04	
	マイコプラズマ肺炎				1.60			1.00	0.63	0.83	2.14	1.35		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.05		0.06		
計 (小児科定点当たり人数)		18.00	14.15	38.46	32.06	28.00	24.98	27.66			64.99			
前週 (小児科定点当たり人数)		15.25	12.27	36.75	25.93	13.50	25.85		25.02					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869